



BOSE

PROFESSIONAL

導入事例 - オフィス | TRIOVEST



カナダの大手不動産会社が、自社会議室を強化へ

Triovest社は完全統合された商業不動産の投資顧問会社です。カナダ全土8か所にオフィスを構え、約600人の従業員を擁する同社は、国内全域に430の不動産物件を管理し、その面積は約380万㎡に及びます。先ごろ、カナダのサスカチュワン州サスカトゥーンに同社のオフィスビル・Triovest River Landing East Towerが完成しました。

約16,700㎡を誇るこの13階建てビルプロジェクトが始まったときに掲げられた第一の目標は、会議室をカスタム設計しクライアントが自分のデバイス（ノートパソコン、スマートフォンなど）を持ち込んで、シームレスに接続してプレゼンテーションできるようにすることでした。

この目標を実現するため、同社はカルガリーに拠点を置くインテグレーター・Teatrx社と契約し、サスカチュワン州最大級の多目的プロジェクト“River Landing”にある3つのカンファレンスセンター内会議室の設計、実装、保守を依頼しました。

会議室に、新たな効率性と柔軟性を

プロジェクトの目標は、クライアントが自身のデバイスを効果的に統合できる複数の会議室を設計することでした。また、部屋の管理も合理化して効率を上げる必要がありました。

「Triovest社はカナダのサスカチュワン州サスカトゥーンに新しいオフィスタワーを建設中でした。同社はテナントが多目的に使用できる会議室を作りたいと考えていました。つまりプレゼンテーションだけではなくビデオ会議や電話会議にも使える空間です」Teatrx社のCEOを務めるスコット・ムルバイア氏は語っています。「当社は、開発、運用、IT、内装デザイナー、施工業者といった、すべての関係者と協力し、3部屋それぞれに、簡単にコラボレーションしやすい会議ソリューションを設計しました」

このプロジェクトがユニークな案件となった理由の一つに高い柔軟性が求められていたことです。Triovest社は、会議室のシステムに合わせて、ユーザーが使えるデバイスを制限するのではなく、システム自体の技術的な柔軟性をできる限り高めることで、利用者が簡単に使えて管理しやすい環境を実現したいと考えていました。つまり、ユーザーを柔軟に受け入れ、それぞれが望むデバイスを使えるような会議室です。

ムルバイア氏は次のように述べています。「テナントが自分のデバイスを持ち込み、会議室内の設備全体と簡単に接続できるうえに、パソコンに入っているビデオ会議用ソフトウェアを使えるように、空間を設計しました。自分のデバイスを持ち込める柔軟性を重視したのです」



理想的なシステムの設計は、今回のプロジェクトのほんの一部に過ぎません。設備の導入はもちろんのこと、使いやすさと管理性を確保するためにも、関係者との調整と明確なコミュニケーションが不可欠でした。

会議室には直観的に使える様々な機器が導入されており、ユーザーはノートパソコンを持って部屋に入れば、すばやく簡単に接続できます。各部屋はTrioVest社の会議室のためにカスタム設計されたユーザーインターフェースで自動化され、会議をスムーズに行えるようになっています。

ビデオ会議へ出席する時でも、開催する場合でも、もしくは電話をかけるためでも、操作はシンプルで迷うことはありません。会議室のシステムは、すぐに利用できるだけでなく、テーブル下の目立たないボックスに収納され、USB、HDMI、Ethernetなどのコネクタも格納式になっており、簡単にアクセスできます。また、Teatrx社は、ミニディスプレイポートとUSB-C接続にも対応できるよう配慮し、HDMIに変換する必要がある場合は、会議室に用意されたアダプターから選んで使用できるようにしました。そうすれば、ユーザーは不測の事態に備えて複数のアダプターを持ち歩かなくて済みます。

さらにUSBケーブルも格納式にすることで、テーブルの上から不要なものを排除し、コラボレーションに集中できるよう、すっきりと整理された状態を保ちます。つまりMicrosoft Surface Proをつなげる場合でも、USB/USB-Cコネクタのどれかを使ってデバイスを充電する場合でも、この会議室は利便性が良く、利用者の効率が向上するのです。

Teatrx社が強調するのは、豊富な種類のコネクタをそろえることによって、すばやく接続してコンテンツを共有できるだけでなく、電源やドングルを探し回ったり、コンセントを譲り合ったりしなくても、モバイル機器やノートパソコンを充電できるという点です。ユーザーはただ部屋に入り、達成しなければならないことに集中し、会議が終わったら部屋を出て行くだけです。機材をリセットしたり、ログアウトしたりするような複雑な手順はありません。

優れたシステムに、パワフルなオーディオを

Teatrx社は、会議製品ライン全般にわたって、Bose Professionalとその製品開発に着目していました。Bose Professional製品に組み込まれたテクノロジーと、Bose Professionalが企業のオフィススペースにもたらしたメリットを認めたムルバイア氏からの連絡を受け、Bose ProfessionalとTeatrx社はパートナーシップを結ぶに至りました。同社のチームが採用したBose Professionalのソリューションは、EdgeMaxスピーカー、ControlSpaceデジタルシグナルプロセッサ、PowerShareパワースタンプのほか、会議スペース内のテーブル下に格納したボックスでUSBとDante™を接続するControlSpace EX-UHで構成されています。

「当社がEdgeMax loudspeakerを選んだ理由は、少ない台数で優れたサウンドを実現できるからです。大きなエグゼクティブ会議室の場合、部屋全体にはっきりと音声を届けるために必要なスピーカーは5台でした。従来は、同等の大きさの部屋だと10台から12台のスピーカーを設置しなければなりません。しかし、EdgeMaxなら驚くべきサウンドとカバレッジを実現できます。さらに、見た目も優れていてだけでなく、設置の時間と費用も削減できます。もちろん、最新のサウンドテクノロジーにも対応しています」とムルバイア氏は付け加えました。



同社は、Bose Professionalがビデオ会議のソフトウェアコーデック・Microsoft Teams、Zoom、Google Meetなどに注力していることの重要性も認識していました。ビデオ会議のトレンドが定着し始めると、同社は、クラウドサービスプロバイダーを導入する企業が増えることで今後ビデオ会議はより普及していくだろうと予想しました。Bose Professionalとのコラボレーションによって、会議室内の音質とカバレッジに最高レベルのソリューションを実現できたのです。また、DSP処理により、室内のサードパーティ製マイクからの入力、そしてファーエンド(受け手)側への出力の両方に適切な音質が確保されてます。

また、PowerShareアンプを活用し、それぞれの会議室に想定していた通りの機能を備えたオーディオソリューションを実現させました。「非常に気に入ったのはPowerShareアンプの設置面積です。価格も良いですし、全体のソリューションに簡単に組み込めるのもメリットでした」とムルバイア氏は語ります。「当社がそろえた機器と一緒にハードウェアすべてをラックに集約したのですが、市場に出ていた競合他社の製品や古い機器と比べて、必要なスペースがはるかに少なかったのです」

創造が生まれ続ける、柔軟で直観的な空間

このプロジェクトの成果として、各会議スペースは、使いやすく直感的なデザインで、最先端のテクノロジーと柔軟なオプションを提供する空間となりました。Trioquest社とそのテナントは好意的な意見や感想を寄せています。このソリューションが多様性に富むテナントのニーズに応えていることを最も示しているのは、会議室の利用方法をほぼ誰にも教える必要がないという点です。ユーザーは、部屋に入ってパソコンを接続し、そこにある機器を操作するだけです。ユーザーが機材に詳しくなくても、HDMIケーブルを接続するだけで自動的にシステムが起動します。

「Bose Professionalとの仕事では驚くことばかりでした。一言で表すとしたら、ただただ素晴らしかったです」

— スコット・ムルバイア氏
Teatrx, Inc., CEO

「Bose Professionalからは販売担当者とプリセールスエンジニアの両方が現場に来て、システムを適切に稼働できるようにサポートしてくれました。本来こうあるべきだという進め方だったと思います。カスタマーサービスというものが忘れ去られている業種もあるので、Bose Professionalが現場に来たことについて、クライアントは非常に喜んでいました。Bose Professionalが製品に込めたコミットメントと自信を示すような対応だったからです」

システムのコンポーネント

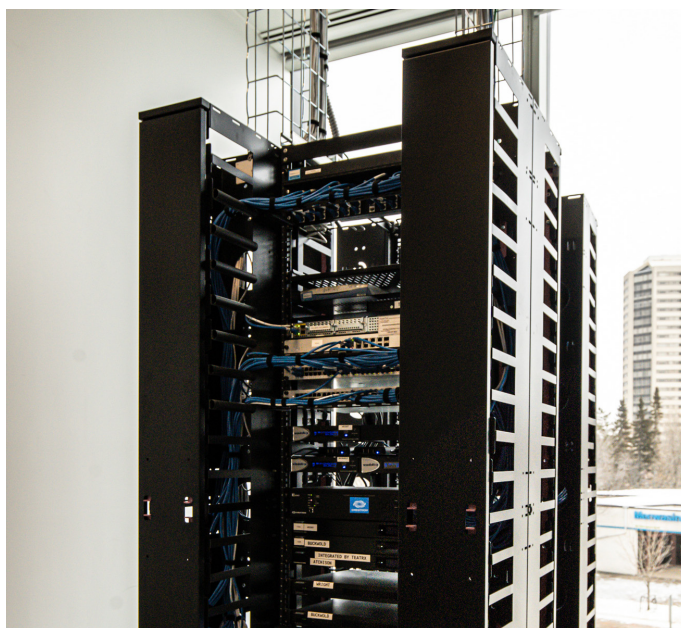
EdgeMax EM180スピーカー

ControlSpace EX-1280C音声会議用プロセッサー

ControlSpace EX-440C音声会議用プロセッサー

ControlSpace EX-UH Dante™エンドポイント

PowerShare PS604Aアダプタブルパワーアンプ



EdgeMax EM180

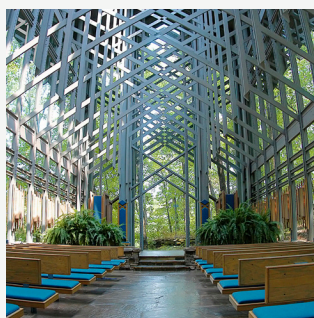
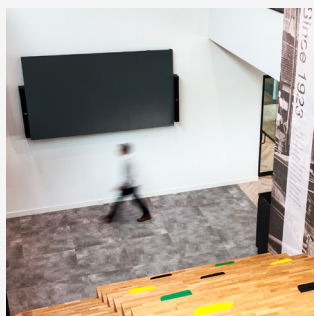
Bose ProfessionalのEdgeMax EM180は、独自のPhaseGuideテクノロジーを採用したプレミアムな天井埋込型スピーカーです。高域コンプレッションドライバーと、革新的なフェーズガイドを搭載し、大型の露出型スピーカーと同等レベルで部屋全体を包み込むカバレッジパターンを実現しつつ、天井埋込型スピーカーのビジュアル性を損なわないデザインを採用した、他に類のないスピーカーです。天井の壁際に設置する設計で、オーディオクオリティとカバレッジを向上させるとともに、従来のドームツイーター搭載の天井埋め込み型スピーカーと比較して少ない本数で全体をカバーできます。

パートナー: **TEATRX INC.**

TEATRX INC.

Teatrx Inc.は、生活とビジネスには3つのことが必要だと考えています。それは、体験、責任、誠実さです。

他の人たちの暮らしを良くすることを、当社は大切にしています。日常の業務がよりうまく運ぶようにサポートするソリューションを組み合わせ、当社のソリューションを使わない日よりも使った日のほうが、少しでも早く家族の待つ家に帰れるようにすることが、当社の目標です。



Bose Professionalは、劇場、芸術センター、礼拝施設、競技場、飲食店、学校、小売店舗、宿泊施設やオフィスビルなど、世界中の様々な市場に高品質なサウンドを提供しています。

プロオーディオ業界のお客様にとって、アンプやスピーカーが単なる製品以上のものであることを、私たちは知っています。私たちボーズ製品の先には、お客様のビジネスがあり、お客様の評判があり、暮らしがある。Bose Professionalの製品を購入することは、世界中のBose Professionalチームによる手厚いサポートを得るということと同意義です。ボーズは、製品の購入は、パートナーシップの始まりだと考えています。



BOSEPROFESSIONAL.COM